資料１－２

第１回川越市男女共同参画庁内会議（書面会議）についての意見

委員の御意見	事務局の考え方
（１）各種審議会における女性委員の登用状況について	
・多様な視点を確保するためには、女性の登用率を上げるのは、重要なことと考えます。 ・一方で、現在は、働き方、考え方が多様化しており、登用率を上げることだけを目標にしてしまうと、一部の方に負担が生じてしまう可能性があるので、配慮が必要と考えます。 ・審議会などの内容によって、登用率の違いがあるで、内容ごとに検討していく必要があると考えます。	女性の登用率を男女共同参画基本計画の目標に掲げる意義は、女性が性別を理由に不当に機会が奪われてきた歴史的背景や、根強く残る固定的性別役割分担意識による構造的課題を可視化し、是正することにあると認識しております。 ご指摘のとおり、こうした根本的な背景への理解を欠いたまま、形だけ登用率を上げることを目標にしてしまうことは、一部の女性への負担集中を招くものと考えます。 今後、そういった状況を打開し、委員候補者の裾野を広げていくためには、組織全体で問題意識を共有して改善を図る意欲を持ち、例えば会議のオンライン化や柔軟な日程調整、サポート体制の強化等の取り組みにより、多様な人材が無理なく参画できる環境づくりを目指していくことが必要です。同時に、社会全体の固定的性別役割分担意識の解消に向けた意識啓発も不可欠です。 また、現在は審議会により女性委員の登用率に大きく差があるのも事実であるため、登用率の低い審議会については、内容ごとに登用率が低くとどまっている理由を検証し、その改善のためにどういった対策が出来るかを検討していくことが重要であると考えます。
（１）各種審議会における女性委員の登用状況についての感想	
庁内プロジェクトなら比率を上げられるような気がするのですが、構成員が要綱等で定められており、構成員に選ばれる政策企画課のような政策決定過程に関わる課に女性がいないという人事の事情が大きいのではないかと感じました。	―